

2026年3月期第2四半期（中間期） 決算説明会

2025年11月28日



株式会社ユアテック
(東証プライム市場：1934)

- 2026年3月期第2四半期の決算概要について説明いたします。

0 1	2026年3月期 第2四半期（中間期） 決算概要	_____	P. 2 – 14
0 2	業績の予想および推移	_____	P. 15 – 22
0 3	株主還元	_____	P. 23 – 26
0 4	「中期経営計画（2024－2028）」	_____	P. 27 – 45
0 5	ご参考	_____	P. 46 – 54

01 2026年3月期 第2四半期（中間期） 決算概要

(1) 決算ハイライト [連結]



- 売上高は、配電線工事および屋内配線工事が増加したことなどにより増収
- 利益は、売上高の増加および工事採算性の向上により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益ともに増益

(単位：百万円)	2025年3月期 2Q（累計）		2026年3月期 2Q（累計）		前年同期比	
	金 額	利益率	金 額	利益率	増減額	増減率
売上高	111,046	—	118,793	—	+ 7,747	+ 7.0%
売上総利益	14,503	13.1%	17,291	14.6%	+ 2,788	+ 19.2%
営業利益	3,518	3.2%	5,888	5.0%	+ 2,370	+ 67.4%
経常利益	4,345	3.9%	5,470	4.6%	+ 1,125	+ 25.9%
親会社株主に帰属する 中間純利益	2,905	2.6%	3,227	2.7%	+ 321	+ 11.1%

© 2025 Yurtec Corporation

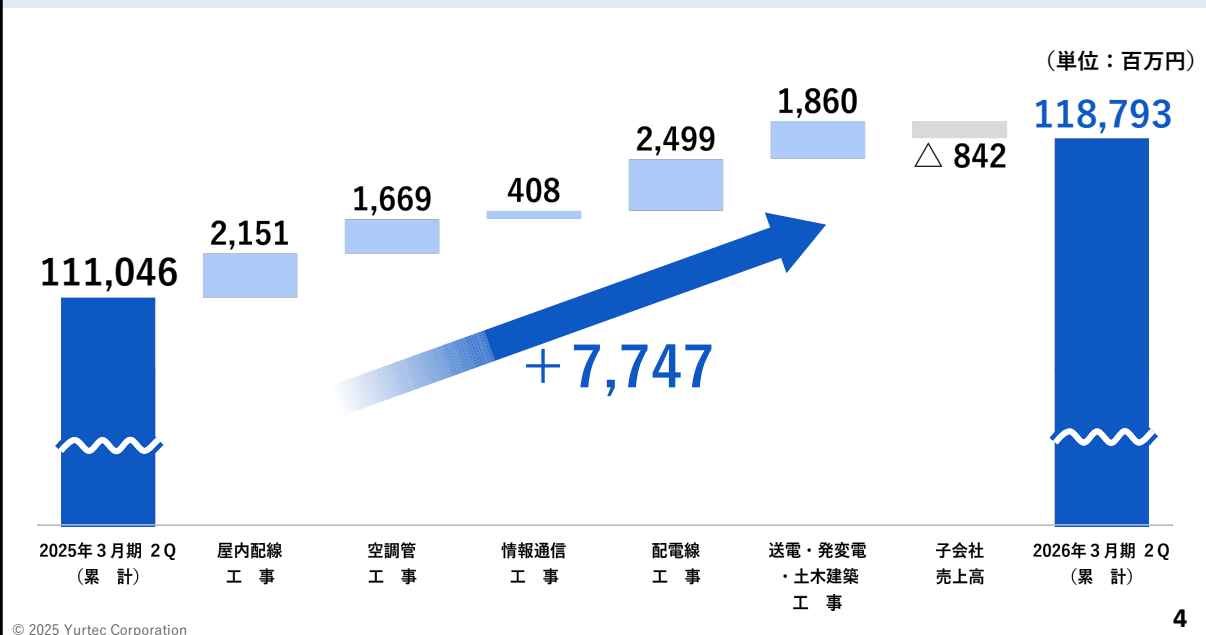
3

- 連結決算のハイライトです。
- 売上高は、配電線工事および屋内配線工事が増加したことなどにより、増収となりました。
- 利益につきましては、売上高の増加および工事採算性の向上により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益ともに増益となりました。
- 売上高・各利益の増減要因につきましては、次の頁よりご説明いたします。

(2) 売上高の増減要因 [連結]

- 配電線工事および屋内配線工事が増加したことなどにより売上高が増加

連結売上高 前期比の増減内訳

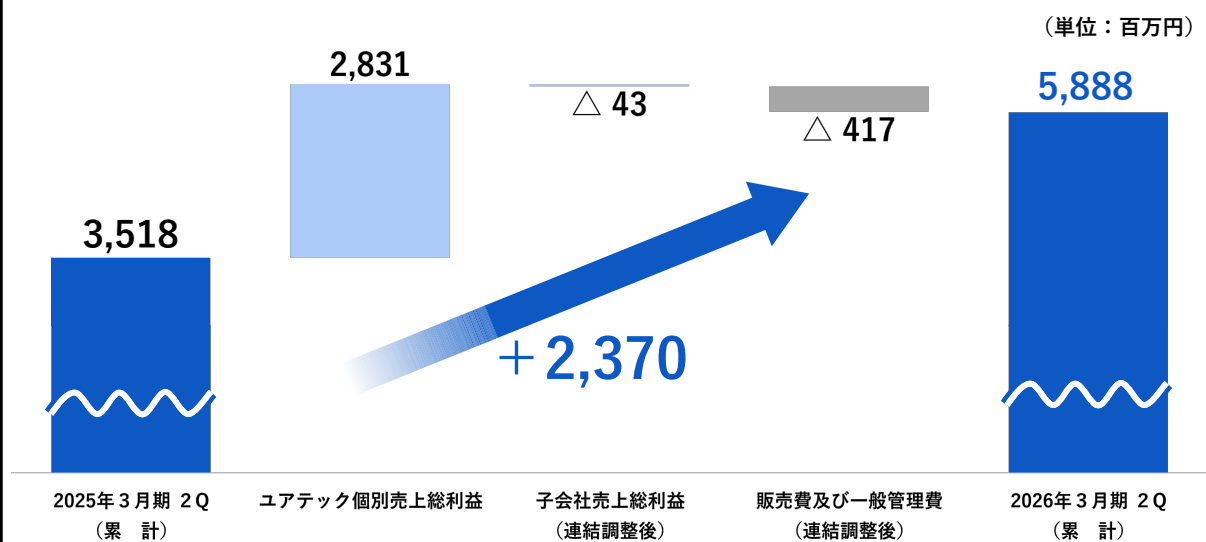


- 売上高の前年同期比の増減内訳です。
- 子会社売上高について、ベトナム連結子会社における大型工事の受注時期繰延により工事進捗が見直しとなった一方、配電線工事や屋内配線工事が順調に進捗したことなどにより、約77億円の増加となりました。

(3) 営業利益の増減要因 [連結]

- ユアテック個別売上総利益は、売上高の増加および工事採算性の向上により増加
- 販売費及び一般管理費は、人的投資に係る費用などにより増加

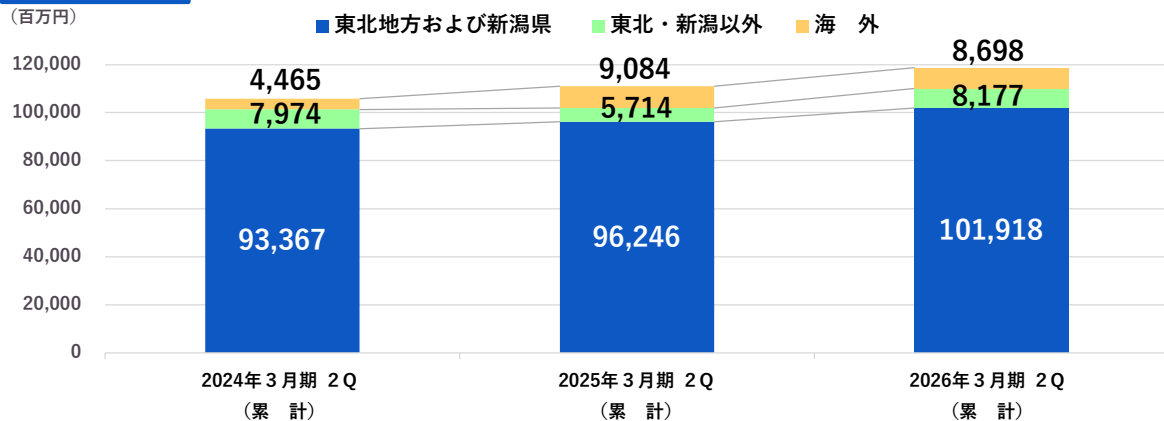
連結営業利益 前年同期比の増減内訳



- 営業利益の前年同期比の増減内訳です。
- 売上高の増加および工事採算性の向上により、個別売上総利益が増加したことなどに伴い、約23億円の増加となりました。

(4) 地域別売上高の推移 [連結]

売上高



(単位：百万円)	2024年3月期 2Q	2025年3月期 2Q	2026年3月期 2Q	前年同期比	
	実績 (累計)	実績 (累計)	実績 (累計)	増減額	増減率
東北地方および新潟県	93,367	96,246	101,918	+ 5,671	+ 5.9%
東北・新潟以外	7,974	5,714	8,177	+ 2,462	+ 43.1%
海外	4,465	9,084	8,698	△ 386	△ 4.3%
計	105,807	111,046	118,793	+ 7,747	+ 7.0%

(注) 東北・新潟以外：東京本部、北海道・大阪支社、㈱ユアテック関東サービスの売上高合計（「東北地方および新潟県」を除く国内）
海外：当社施工、YURTEC VIETNAM CO.,LTD.、SIGMA ENGINEERING JSCの売上高合計

© 2025 Yurtec Corporation

- 地域別売上高の推移です。
- 「東北地方および新潟県」は、大型の工場や商業施設、再生可能エネルギー関連工事、特高受変電設備工事が順調に進捗したことに加え、東北電力グループ工事における高経年化設備対策工事や基幹送電網整備工事および競争案件を受注したことにより、前年同期比で約56億円の増加となりました。
- 「東北・新潟以外」は、大型の商業施設や流通施設の工事が順調に進捗したことにより、前年同期比で約24億円の増加となりました。
- 「海外」は、上期に着工が予定されていた工事の一部が下期に延期されたことや、予定案件の計画中止などにより、前年同期比で約3億円の減少となりました。

(5) 決算ハイライト [個別]

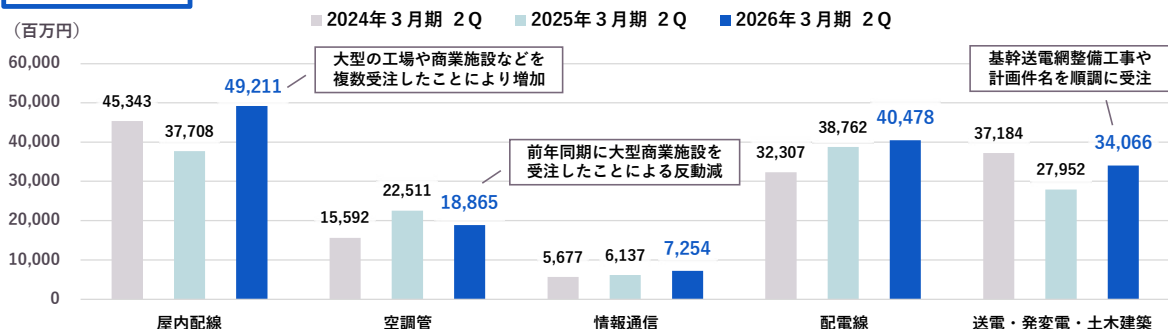
- 売上高は、配電線工事や屋内配線工事が増加したことなどにより**増収**
- 利益は、工事採算性の向上などにより、営業利益、経常利益、中間純利益ともに**増益**
- 手持工事高は、**高水準**で推移

(単位：百万円)	2025年3月期 2Q（累計）		2026年3月期 2Q（累計）		前年同期比	
	金 額	利益率	金 額	利益率	増減額	増減率
受注工事高	133,072	—	149,875	—	+16,803	+12.6%
売上高	98,320	—	106,941	—	+8,621	+8.8%
営業利益	2,683	2.7%	5,147	4.8%	+2,463	+91.8%
経常利益	3,501	3.6%	6,383	6.0%	+2,881	+82.3%
中間純利益	2,393	2.4%	4,426	4.1%	+2,032	+84.9%
手持工事高	185,495	—	201,815	—	+16,319	+8.8%

- 個別決算のハイライトです。
- 売上高については、配電線工事や屋内配線工事が増加したことなどにより、約86億円の増加となりました。
- 利益については、工事採算性の向上などにより各利益とも増加しました。
- また、手持ち工事についても、高水準で推移しています。

(6) 工事別受注工事高の推移 [個別]

受注工事高



(単位：百万円)	2024年3月期 2Q	2025年3月期 2Q	2026年3月期 2Q	前年同期比	
	実績 (累計)	実績 (累計)	実績 (累計)	増減額	増減率
屋内配線	45,343	37,708	49,211	+11,503	+30.5%
空調管	15,592	22,511	18,865	△3,646	△16.2%
情報通信	5,677	6,137	7,254	+1,116	+18.2%
配電線	32,307	38,762	40,478	+1,715	+4.4%
送電	9,750	7,594	9,746	+2,151	+28.3%
発変電	10,965	7,694	12,779	+5,085	+66.1%
土木建築	16,469	12,663	11,540	△1,122	△8.9%
計	136,106	133,072	149,875	+16,803	+12.6%

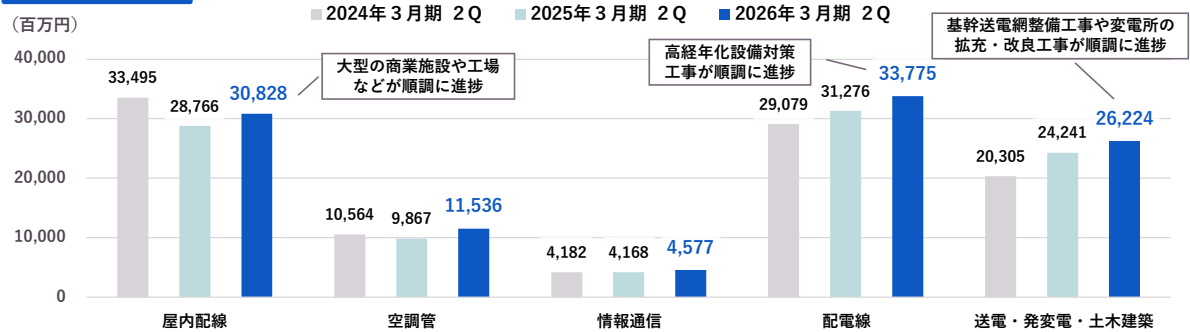
© 2025 Yurtec Corporation

8

- 工事別受注工事高の推移です。
- 屋内配線工事は、大型の工場や商業施設などを複数受注したことにより前年同期比で約115億円の増加となりました。
- 空調管工事は、前年同期に大型商業施設を受注したことによる反動減となりました。
- また、送電・発変電・土木建築工事では、発変電工事において、基幹送電網整備工事や計画案件を順調に受注したことにより、約50億円の増加となりました。

(7) 工事別売上高の推移 [個別]

売上高



(単位：百万円)	2024年3月期 2Q	2025年3月期 2Q	2026年3月期 2Q	前年同期比	
	実績(累計)	実績(累計)	実績(累計)	増減額	増減率
屋内配線	33,495	28,766	30,828	+2,062	+7.2%
空調管	10,564	9,867	11,536	+1,668	+16.9%
情報通信	4,182	4,168	4,577	+408	+9.8%
配電線	29,079	31,276	33,775	+2,499	+8.0%
送電	7,786	6,777	7,173	+396	+5.9%
発電電	5,717	6,683	8,528	+1,844	+27.6%
土木建築	6,801	10,780	10,522	△258	△2.4%
計	97,628	98,320	106,941	+8,621	+8.8%

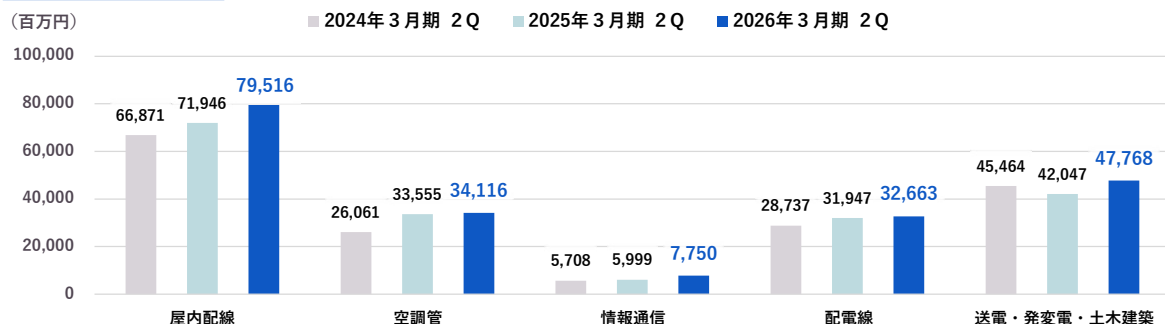
© 2025 Yurtec Corporation

9

- 工事別売上高の推移です。
- 屋内配線工事は、大型の商業施設や工場などが順調に進捗したことにより、前年同期比で増加、配電線工事は、高経年化 設備対策工事が順調に進捗したことにより、前年同期比で増加となりました。
- また、送電・発電電・土木建築工事は、主に発電電工事において、基幹送電網 整備工事や変電所の拡充・改良工事が順調に進捗したことから、前年同期比で増加となりました。

(8) 工事別手持工事高の推移 [個別]

手持工事高



(単位：百万円)	2024年3月期 2Q	2025年3月期 2Q	2026年3月期 2Q	前年同期比	
	実績(累計)	実績(累計)	実績(累計)	増減額	増減率
屋内配線	66,871	71,946	79,516	+7,569	+10.5%
空調管	26,061	33,555	34,116	+561	+1.7%
情報通信	5,708	5,999	7,750	+1,751	+29.2%
配電線	28,737	31,947	32,663	+716	+2.2%
送電	11,355	9,007	13,624	+4,617	+51.3%
発電	17,355	16,514	20,818	+4,303	+26.1%
土木建築	16,752	16,525	13,326	△3,199	△19.4%
計	172,843	185,495	201,815	+16,319	+8.8%

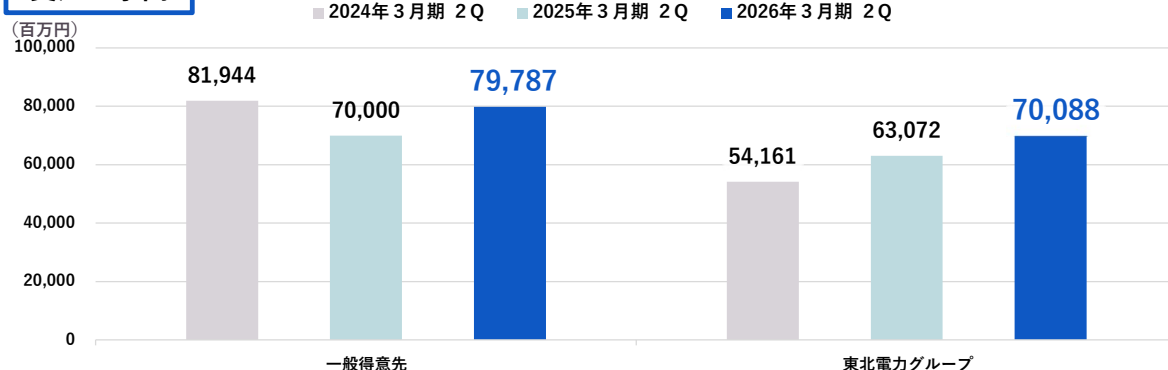
© 2025 Yurtec Corporation

10

- 工事別の手持工事高の推移です。
- 土木・建築工事において、一部、減少も見られますが、高水準で推移しております。

(9) 得意先別受注工事高の推移 [個別]

受注工事高



(単位：百万円)	2024年3月期 2Q		2025年3月期 2Q		2026年3月期 2Q		前年同期比（実績）	
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
一般得意先	81,944	60.2%	70,000	52.6%	79,787	53.2%	+9,787	+14.0%
東北電力グループ	54,161	39.8%	63,072	47.4%	70,088	46.8%	+7,015	+11.1%
計	136,106	100.0%	133,072	100.0%	149,875	100.0%	+16,803	+12.6%

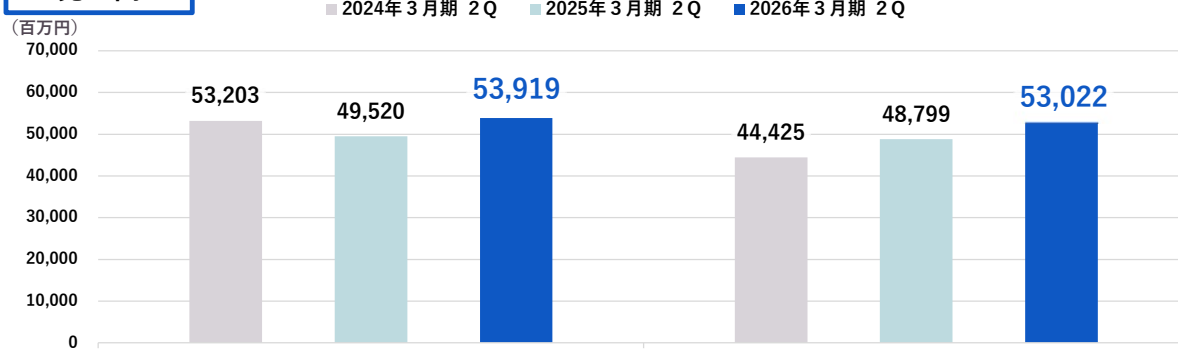
© 2025 Yurtec Corporation (注) 東北電力グループ：東北電力株、東北電力ネットワーク株

11

- 得意先別 受注工事高の推移です。
- ここでは、民間企業や官公庁の「一般得意先」と「東北電力グループ」に分けて受注工事高を記載しています。
- 「一般得意先」は大型の工業施設や商業施設の受注があったことにより、前年同期比で増加、「東北電力グループ」は発電工事や送電工事の増加などにより、前年同期比で増加しました。

(10) 得意先別売上高の推移 [個別]

売上高



(単位：百万円)	2024年3月期 2Q		2025年3月期 2Q		2026年3月期 2Q		前年同期比（実績）	
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
一般得意先	53,203	54.5%	49,520	50.4%	53,919	50.4%	+4,399	+8.9%
東北電力グループ	44,425	45.5%	48,799	49.6%	53,022	49.6%	+4,222	+8.7%
計	97,628	100.0%	98,320	100.0%	106,941	100.0%	+8,621	+8.8%

© 2025 Yurtec Corporation (注) 東北電力グループ：東北電力株、東北電力ネットワーク株

12

- 得意先別の売上高推移です。
- 一般得意先については、大型の商業施設や流通施設の工事が順調に進捗したことなどにより、前年同期比で増加しました。
- 東北電力グループについては、高経年化設備 対策工事や基幹送電網整備工事および競争案件を受注したことにより、前年同期比で増加しています。

(11) 中間連結貸借対照表



(単位：百万円)

科 目	2025年 3 月期	2026年 3 月期 2 Q	増減額	科 目	2025年 3 月期	2026年 3 月期 2 Q	増減額
資産の部				負債の部			
流動資産合計	154,335	139,216	△15,118	流動負債合計	64,954	49,354	△15,600
現金預金	33,770	35,295	+1,525	支払手形・工事未払金等	35,298	27,659	△7,639
受取手形・完成工事未収入金等	89,471	77,849	△11,622	電子記録債務	9,924	7,448	△2,475
電子記録債権	6,445	4,606	△1,838	短期借入金	3,536	3,307	△228
有価証券	16,190	10,692	△5,498	未払法人税等	4,962	2,478	△2,483
未成工事支出金	1,066	2,542	+1,476	工事損失引当金	379	394	+14
材料貯蔵品	2,356	2,507	+151	役員賞与引当金	81	-	△81
その他	6,074	6,662	+588	その他	10,773	8,065	△2,707
貸倒引当金	△1,038	△939	+99	固定負債合計	20,885	21,696	+810
固定資産合計	79,218	79,577	+358	負債合計	85,840	71,050	△14,790
有形固定資産	49,067	49,521	+453	純資産の部			
のれん	2,915	2,409	△506	資本金	7,803	7,803	-
無形固定資産（その他）	3,791	3,636	△155	資本剰余金	7,849	7,892	+42
投資その他の資産（その他）	23,653	24,217	+564	利益剰余金	128,136	128,289	+153
貸倒引当金	△210	△208	+1	自己株式	△281	△267	+14
資産合計	233,554	218,794	△14,760	その他有価証券評価差額金	784	1,228	+443
				土地再評価差額金	△2,255	△2,270	△15
				為替換算調整勘定	1,258	872	△386
				退職給付に係る調整累計額	4,353	4,128	△224
				非支配株主持分	63	66	+2
				純資産合計	147,713	147,743	+29
				負債純資産合計	233,554	218,794	△14,760

© 2025 Yurtec Corporation

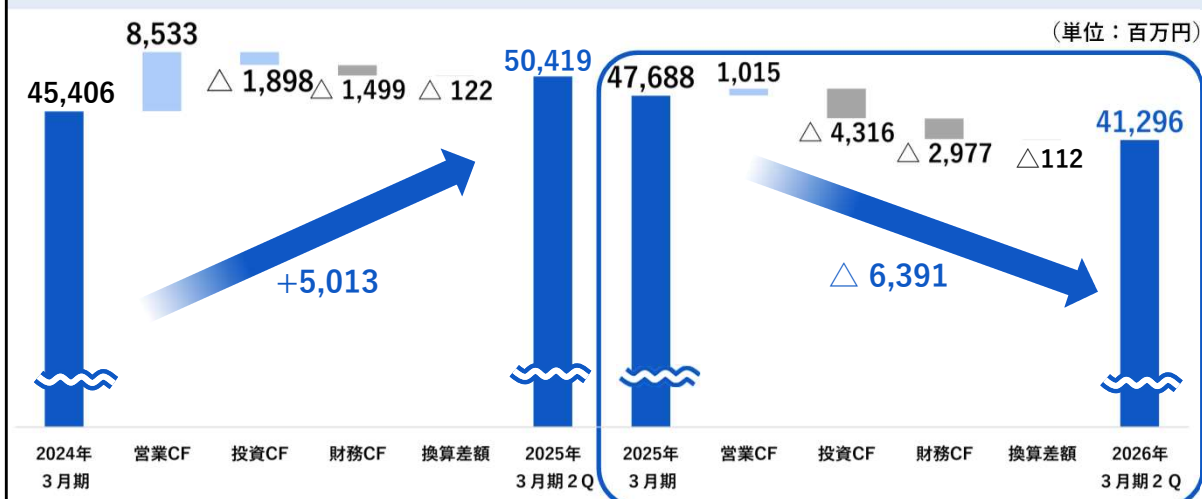
13

- 中間連結貸借対照表です。
- 資産合計は約2,187億円となり、前連結会計年度末に比べ、約147億円減少しました。

(12) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

- 営業CFは、売上債権の回収が仕入債務の支払を上回ったことなどにより、1,015百万円の資金を獲得
- 投資CFは、定期預金の預入などにより、4,316百万円の資金を使用
- 財務CFは、配当金の支払などにより、2,977百万円の資金を使用

現金及び現金同等物 中間期末残高の推移



- 中間連結キャッシュ・フロー計算書です。
- 現金及び現金同等物の当期残高は約63億円減少し、約412億円となりました。

02 業績の予想および推移

(1) 2026年3月期 通期業績予想



- 中期経営計画（2024－2028）に基づく5つの基本戦略・主要施策のもと、グループ一丸となった施策展開により増収・増益を予想

連 結	2025年3月期 実績		2026年3月期 予想		前期比	
	金 額	利益率	金 額	利益率	増減額	増減率
(単位：百万円)						
売上高	257,204	—	267,000	—	+9,795	+3.8%
営業利益	16,185	6.3%	16,700	6.3%	+514	+3.2%
経常利益	17,302	6.7%	17,500	6.6%	+197	+1.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	11,982	4.7%	12,200	4.6%	+217	+1.8%

個 別	2025年3月期 実績		2026年3月期 予想		前期比	
	金 額	利益率	金 額	利益率	増減額	増減率
(単位：百万円)						
受注工事高	236,898	—	244,000	—	+7,101	+3.0%
売上高	228,759	—	239,000	—	+10,240	+4.5%
営業利益	13,923	6.1%	14,500	6.1%	+576	+4.1%
経常利益	15,310	6.7%	16,000	6.7%	+689	+4.5%
当期純利益	10,926	4.8%	11,500	4.8%	+573	+5.2%

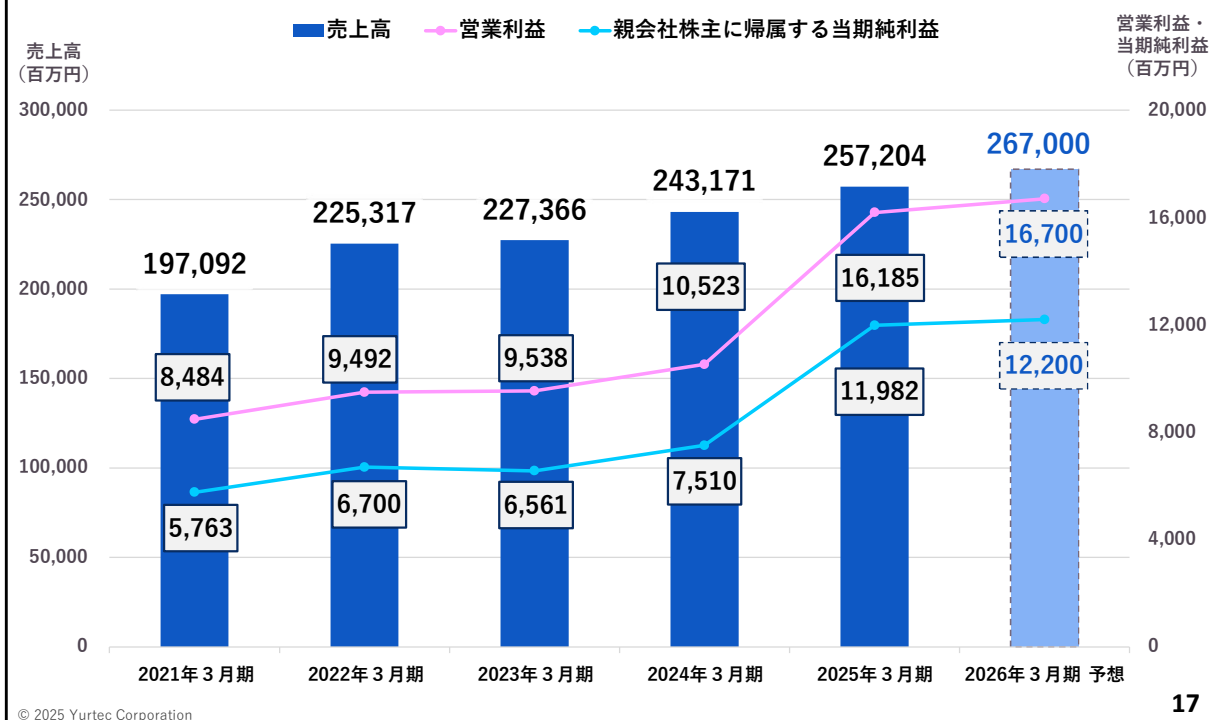
© 2025 Yurtec Corporation

16

- 2026年3月期の通期 連結業績予想です。
- 中期経営計画に基づく5つの基本戦略・主要施策のもと、グループ一丸となって、増収・増益を目指してまいります。
- 17頁から22頁にかけて、連結・個別の業績推移および予想と工事別の予想を記載しております。一部、説明を割愛させていただきまして、21頁について、補足いたします。

(2) 業績の推移および予想 [連結]

Yurtec

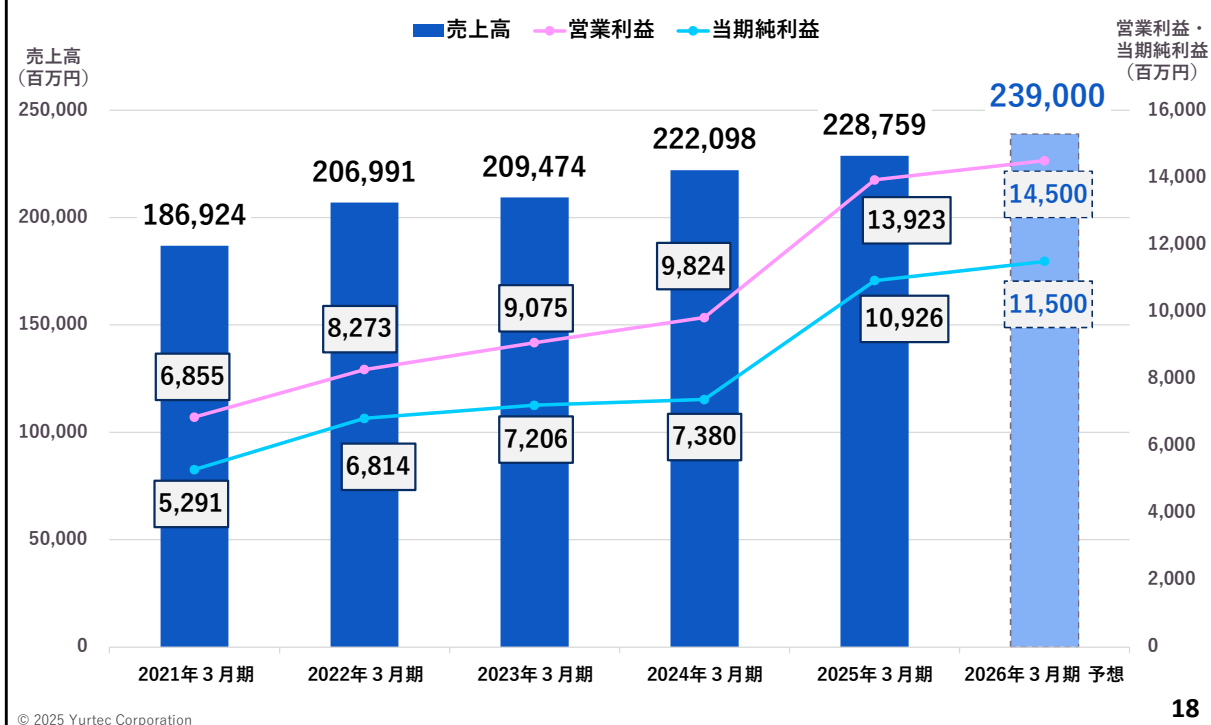


17

説明省略

(3) 業績の推移および予想 [個別]

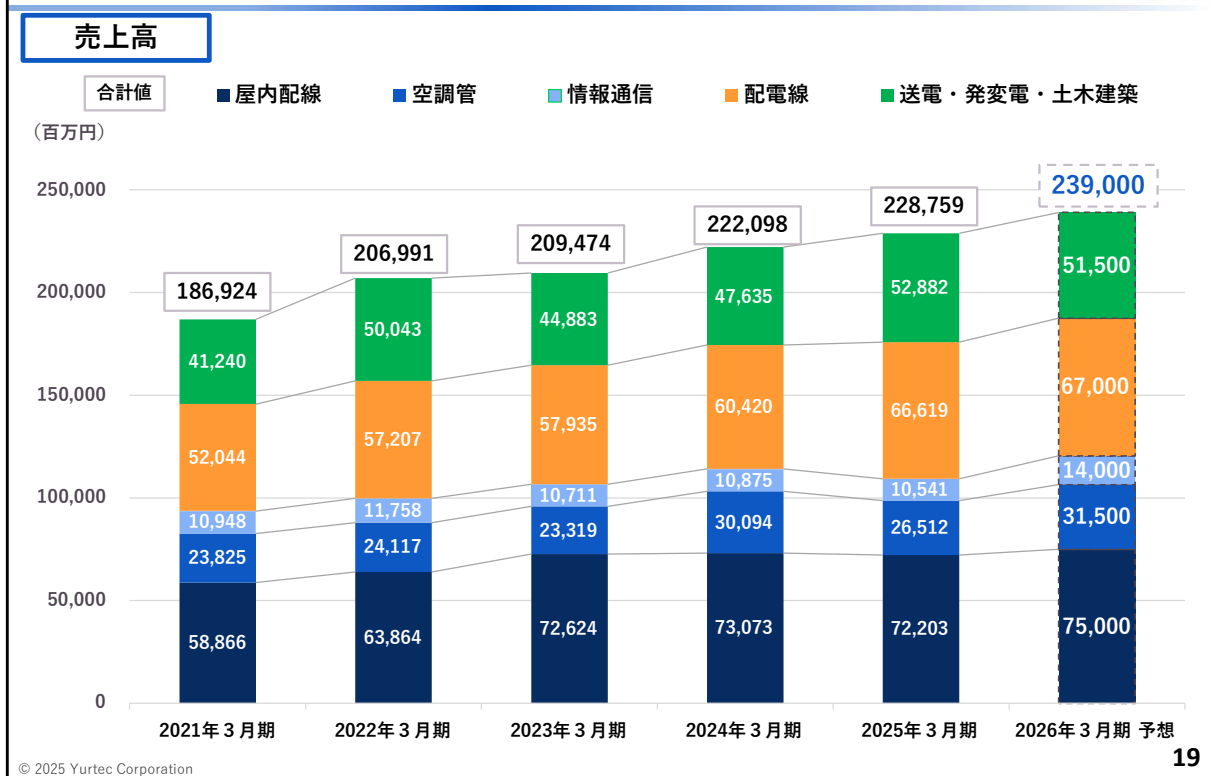
Yurtec



18

説明省略

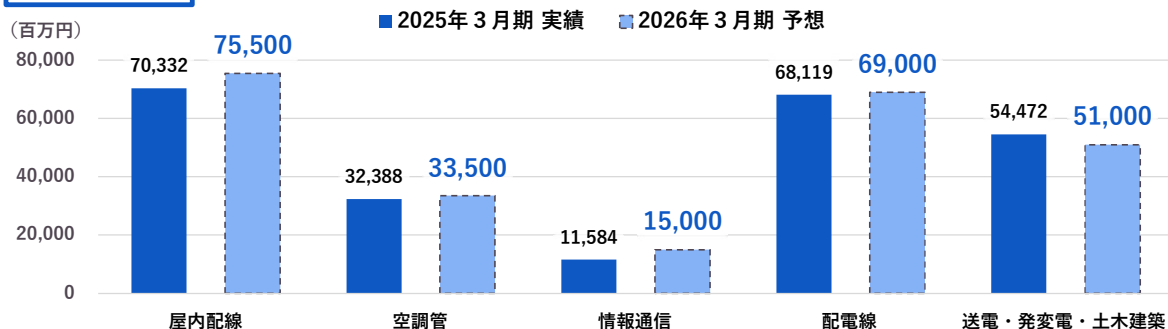
(4) 工事別売上高の推移および予想 [個別]



説明省略

(5) 工事別受注工事高 予想 [個別]

受注工事高



(単位：百万円)	2025年3月期	2026年3月期	前期比	
	実績	予想	増減額	増減率
屋内配線	70,332	75,500	+5,167	+7.3%
空調管	32,388	33,500	+1,111	+3.4%
情報通信	11,584	15,000	+3,415	+29.5%
配電線	68,119	69,000	+880	+1.3%
送電	18,392	17,000	△1,392	△7.6%
発電電	15,132	15,000	△132	△0.9%
土木建築	20,947	19,000	△1,947	△9.3%
計	236,898	244,000	+7,101	+3.0%

説明省略

(6) 工事別売上高 予想 [個別]

売上高



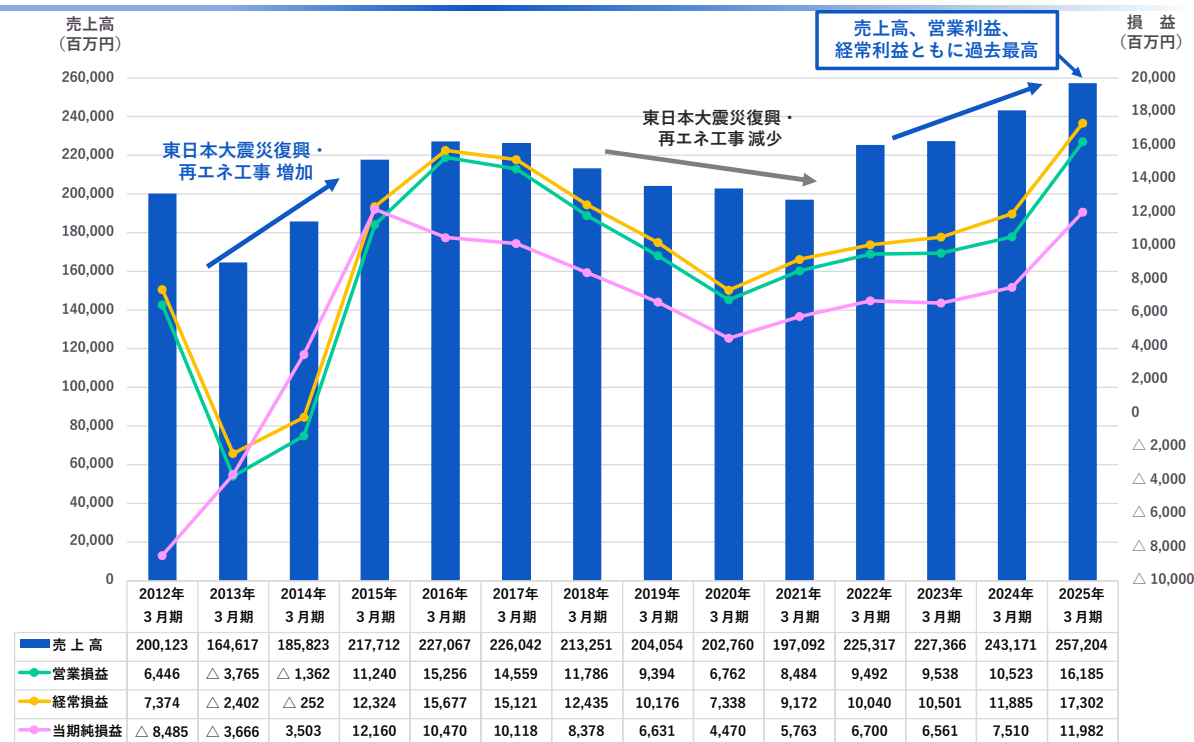
(単位: 百万円)	2025年3月期	2026年3月期	前期比	
	実績	予想	増減額	増減率
屋内配線	72,203	75,000	+2,796	+3.9%
空調管	26,512	31,500	+4,987	+18.8%
情報通信	10,541	14,000	+3,458	+32.8%
配電線	66,619	67,000	+380	+0.6%
送電	15,530	16,000	+469	+3.0%
発電電	14,068	14,000	△68	△0.5%
土木建築	23,283	21,500	△1,783	△7.7%
計	228,759	239,000	+10,240	+4.5%

© 2025 Yurtec Corporation

21

- 個別の工事別売上高予想です。
- 前期比で、空調管工事については約2割、情報通信工事については約3割の増加を見込んでおります。
- 空調管工事については、複数の大型物件の竣工が計画されていることに加え、大型の商業施設などの進捗が見込まれていることから、増加の見通しとなっております。
- 情報通信工事については、データセンターや官公庁物件への取り組みに加え、屋内配線および空調管工事に付帯する情報通信工事の受注強化にも取り組んでいることから、増加の見通しとなっております。

(参考) 連結業績の推移



© 2025 Yurtec Corporation

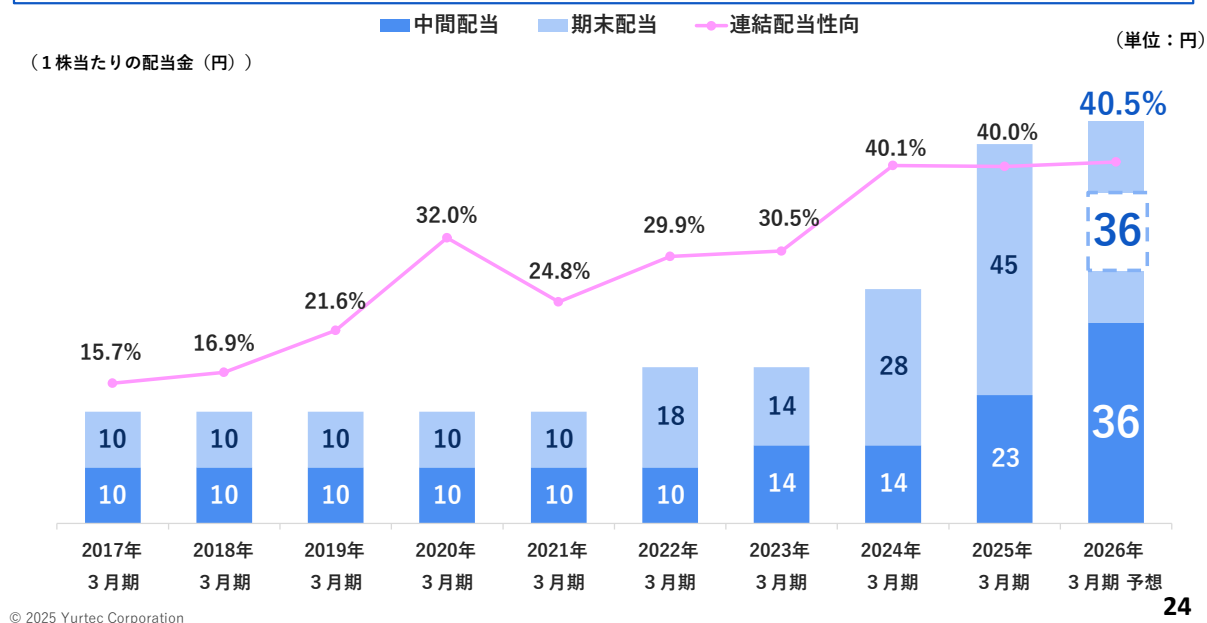
説明省略

03 株主還元

(1) 配当金の推移

配当方針 (2024年4月25日公表)

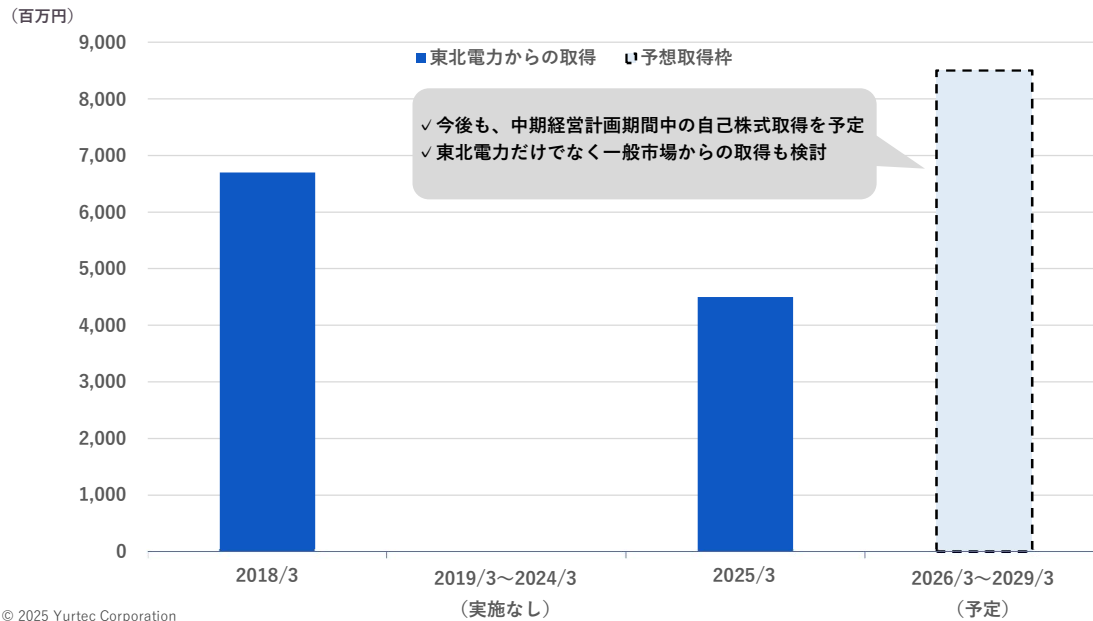
当社は、株主のみなさまへの利益還元を経営上重要な施策として位置付けております。
将来に向けた事業展開・成長投資を考慮しながら、業績に応じ連結配当性向40%以上を安定的に利益還元することを基本方針としております。



- 配当金の推移です。
- 2026年度3月期の配当金は、今回の中間配当で1株当たり36円、期末配当も同額の36円を予定しており、年間配当は1株当たり72円、配当性向は40.5%となる見込みです。

(2) 自己株式の取得

- 2024年10月に公表した「キャピタル・アロケーション」に基づき、中期経営計画（2024-2028）の期間内における総還元性向50～60%を想定
- 安定配当に加え、バリュエーションや財務状況に応じて、適宜、自己株式の取得を実施予定



25

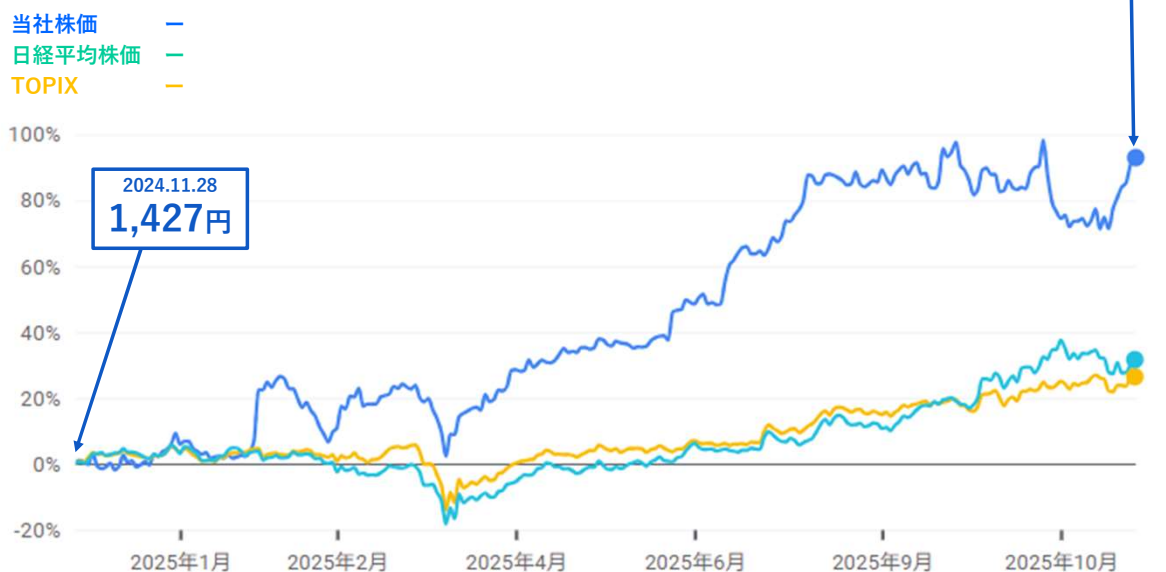
- 自己株式の取得です。
- 今後も、中期経営計画期間中に約85億円の自己株式取得を予定しており、東北電力だけでなく、一般市場からの取得も適宜、実施する予定です。

(参考) 株価の推移

Yurtec

■ 直近 1 年間で約93%の上昇率を記録

⇒ 堅調な業績を背景に日経平均株価、TOPIXの上昇率を大幅に上回る



© 2025 Yurtec Corporation

26

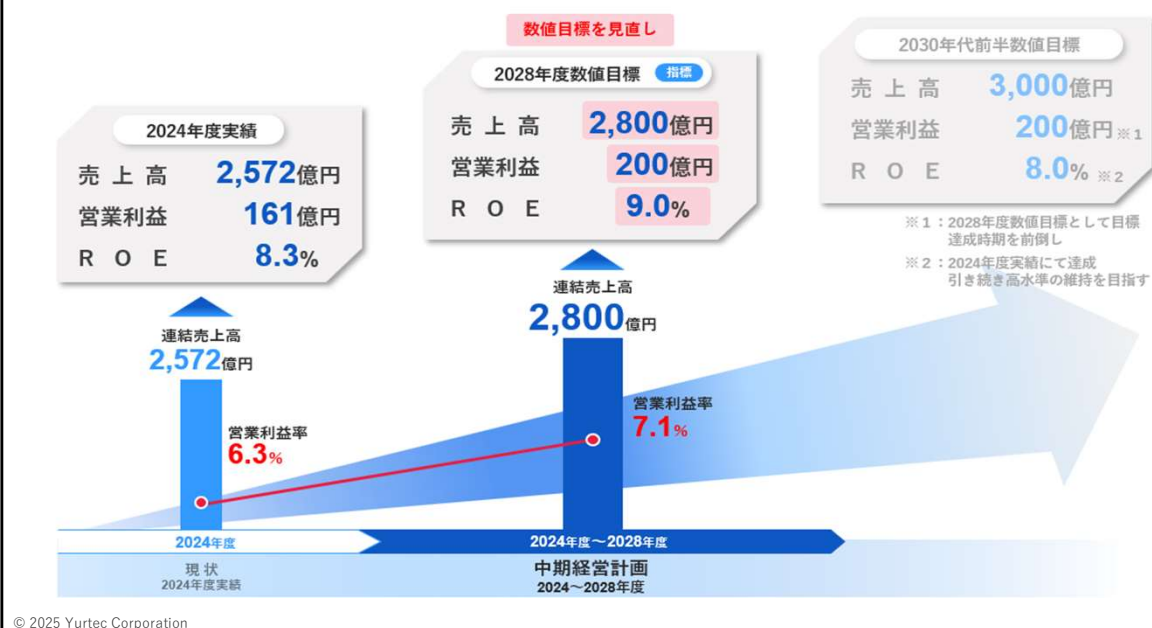
- 直近 1 年の株価推移です。
- 堅調な業績やIR活動の施策効果等を背景に、日経平均株価を上回る上昇率となっております。
- 今後も持続的に利益を伸ばし、資本効率を高めることによって、企業価値の向上に努めてまいります。

04 中期経営計画（2024-2028）

※ 2025年10月29日 見直しを公表

(1) 中期経営計画（数値目標）の見直し

- 数値目標の一部（営業利益、ROE）を達成したことから、一層の収益拡大に向けて、数値目標の見直しを実施
- 引き続き、収益拡大に向けて既存事業のさらなる深化と成長分野への取り組みを加速



28

- 2024年3月、当社は「2030ビジョン」および「中期経営計画」を策定し、資本効率を意識した経営の実現に向け、数値目標として新たにROEを掲げました。
- 中期経営計画の初年度である2024年度の業績は、工事の順調な進捗や工事採算性の向上により、当初目標として掲げたなかで営業利益とROE目標を達成いたしました。
- これを受けて当社は、一層の収益拡大に向けて、10月29日に数値目標の連結売上高を2,700億円から2,800億円に、連結営業利益を135億円から200億円に、ROEを6%以上から9%に上方修正いたしました。
- 新たな数値目標を達成すべく、原価低減と生産性向上による収益性の強化により、既存事業のさらなる深化と、成長分野への取り組みを加速してまいります。

(2) 収益性の向上

- 事業ポートフォリオに基づく「既存事業の深化」と「成長分野への取り組み加速」
 - ✓ 既存事業：リニューアル工事の受注拡大、施工体制の拡充・強化による収益確保
 - ✓ 成長分野：再エネ関連工事、ベトナム国を中心とした海外事業の拡大、
将来を見据えた東北・新潟以外の戦略的エリア展開

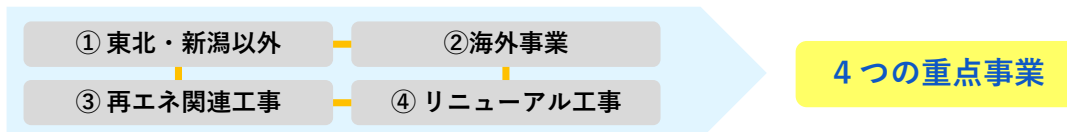
事業ポートフォリオ (1/2)



説明省略

(2) 収益性の向上

■ 東北・新潟での事業のさらなる深化を前提として、4つの重点事業を設定



事業ポートフォリオ (2/2)

	事業分析結果		概 要	2024年度 実績 (売上高)
	2022年度実績 (売上高)	2028年度計画 成長性(売上高)		
東北・新潟	1,925億円	2,161億円	・創業以来の事業エリアである東北・新潟での競争力をさらに高めて事業基盤を強化する	2,108億円
① 東北・新潟以外	167億円	288億円	・これまで注力してきた関東圏を中心に東北・新潟以外のエリアへの事業拡大をはかる	179億円
② 海外事業	89億円	293億円	・ベトナム国を起点とした事業拡大および社会インフラ整備事業を通じたODA案件等の受注拡大をはかる	172億円
③ 再エネ関連工事	148億円	112億円	・コスト高騰や規制強化に伴う許認可の遅れ等により、洋上・陸上風力発電事業による成長は時間を要すると見込むが、再エネ関連工事の将来性は依然高く、蓄積したノウハウと地理的競争優位性を活かした事業拡大を目指す	109億円
④ リニューアル工事	345億円	428億円	・従来のリニューアル営業に加え、(自社事業所へのZEB導入で得た知見をもとに)お客さまへの省エネ・ZEB化推進の提案によりさらなる受注拡大をはかる	355億円

※「東北・新潟」および「①東北・新潟以外」は「③再エネ関連工事」および「④リニューアル工事」と重複がある。「②海外事業」はグループ会社分を含む。

© 2025 Yurtec Corporation

30

- 収益性の向上に向けた事業分野に関する考え方をお示ししています。
- 具体的には、創業以来の事業エリアである東北・新潟での事業のさらなる深化を前提として、「東北・新潟以外」、「海外事業」、「再エネ関連工事」、「リニューアル工事」の4事業を重点事業として設定しております。
- これらの重点事業は、当社事業との親和性が高く、いずれも高い成長が見込まれる分野です。
- 各事業の詳細については、後ほど、改めてご紹介いたします。

(3) 経営資源の適切な配分

■ キャッシュの活用と積極的な成長投資・株主還元強化

■ 中期経営計画期間内における総還元性向は、50～60%を想定

キャピタル・アロケーション（中期経営計画（2024-2028）期間内）

キャッシュイン	キャッシュアウト								
資金調達 約550億円	<table> <tr> <td>事業投資 約280億円</td><td> - 既存事業の深化 - 成長分野への取り組み加速 </td></tr> <tr> <td>設備投資 約270億円</td><td> - 事業所や工事用設備 - ZEB仕様の事業所、EV導入など、環境投資へ130億円超を投入 </td></tr> <tr> <td>人財投資 約150億円</td><td> - 人財確保および人財育成 - 労働環境の改善、エンゲージメント向上 </td></tr> <tr> <td>IT・DX投資 約100億円</td><td> - 企業競争力の強化に資するIT・DX化の推進 </td></tr> </table>	事業投資 約280億円	- 既存事業の深化 - 成長分野への取り組み加速	設備投資 約270億円	- 事業所や工事用設備 - ZEB仕様の事業所、EV導入など、環境投資へ130億円超を投入	人財投資 約150億円	- 人財確保および人財育成 - 労働環境の改善、エンゲージメント向上	IT・DX投資 約100億円	企業競争力の強化に資するIT・DX化の推進
事業投資 約280億円	- 既存事業の深化 - 成長分野への取り組み加速								
設備投資 約270億円	- 事業所や工事用設備 - ZEB仕様の事業所、EV導入など、環境投資へ130億円超を投入								
人財投資 約150億円	- 人財確保および人財育成 - 労働環境の改善、エンゲージメント向上								
IT・DX投資 約100億円	企業競争力の強化に資するIT・DX化の推進								
営業CF 約650億円	<table> <tr> <td>成長投資 総額 約800億円</td><td></td></tr> <tr> <td>株主還元 総額 約400億円 (300億円)^{※2}</td><td> <table> <tr> <td>配当^{※1} (200億円) 約270億円</td><td> 「配当性向40%以上」の基本方針を継続予定 - 安定的な配当を実施 </td></tr> <tr> <td>自己株式取得^{※1} (100億円) 約130億円</td><td> - 中期経営計画期間内の利益のうち、10～20%程度の金額で自己株式を取得予定 </td></tr> </table> </td></tr> </table>	成長投資 総額 約800億円		株主還元 総額 約400億円 (300億円) ^{※2}	<table> <tr> <td>配当^{※1} (200億円) 約270億円</td><td> 「配当性向40%以上」の基本方針を継続予定 - 安定的な配当を実施 </td></tr> <tr> <td>自己株式取得^{※1} (100億円) 約130億円</td><td> - 中期経営計画期間内の利益のうち、10～20%程度の金額で自己株式を取得予定 </td></tr> </table>	配当 ^{※1} (200億円) 約270億円	「配当性向40%以上」の基本方針を継続予定 - 安定的な配当を実施	自己株式取得 ^{※1} (100億円) 約130億円	中期経営計画期間内の利益のうち、10～20%程度の金額で自己株式を取得予定
成長投資 総額 約800億円									
株主還元 総額 約400億円 (300億円) ^{※2}	<table> <tr> <td>配当^{※1} (200億円) 約270億円</td><td> 「配当性向40%以上」の基本方針を継続予定 - 安定的な配当を実施 </td></tr> <tr> <td>自己株式取得^{※1} (100億円) 約130億円</td><td> - 中期経営計画期間内の利益のうち、10～20%程度の金額で自己株式を取得予定 </td></tr> </table>	配当 ^{※1} (200億円) 約270億円	「配当性向40%以上」の基本方針を継続予定 - 安定的な配当を実施	自己株式取得 ^{※1} (100億円) 約130億円	中期経営計画期間内の利益のうち、10～20%程度の金額で自己株式を取得予定				
配当 ^{※1} (200億円) 約270億円	「配当性向40%以上」の基本方針を継続予定 - 安定的な配当を実施								
自己株式取得 ^{※1} (100億円) 約130億円	中期経営計画期間内の利益のうち、10～20%程度の金額で自己株式を取得予定								

※1. 記載している金額は、2025年9月末現在での当社試算値であり、今後の業績によって増減する可能性があります。

※2. 上記表における括弧内には、2024年10月公表時の金額を記載しております。

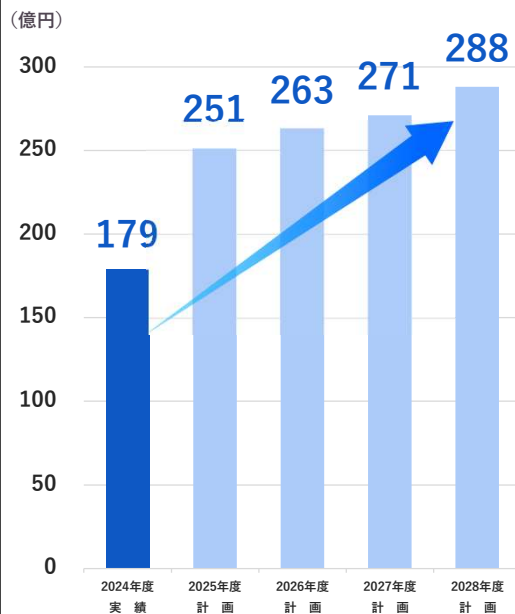
© 2025 Yurtec Corporation

31

- 「経営資源の適切な配分」に向けた施策です。
- 投資家のみなさまからのご意見等を踏まえ、この度のアップデートにおいて、キャピタル・アロケーションの中に「キャッシュイン」を追加しております。
- 「キャッシュアウト」といたしましては、成長投資 約800億円に加え、安定的な配当と自己株式の取得を実施し、総還元性向50%から60%を目安に、さらなる株主還元の強化に取り組んでまいります。

(4) 東北・新潟以外（関東圏他）

東北・新潟以外の売上計画



■ 建設需要が旺盛な関東圏

- ✓ 首都圏の大規模再開発需要の取り込み
- ✓ 成長分野であるデータセンターや地域熱供給工事の受注拡大



東北・新潟以外における
建設需要の
取り込みをはかる



© 2025 Yurtec Corporation

32

- 収益性の向上に向けた、4つの重点事業についてご紹介します。
- 1つ目は、「東北・新潟以外」です。
- 2024年度の売上実績179億円に対し、2028年度は、288億円の売上を計画しております。
- 屋内配線・空調管・情報通信工事については、建設需要が旺盛な関東圏を中心に、成長市場へ強みを持つお客さまへの営業や体制強化を継続しつつ、その他エリアへの進出も検討してまいります。
- 特に、都市部における再開発プロジェクトやデータセンター関連施設の建設需要は高水準で推移すると予測されています。東北電力が推進するデータセンター誘致構想に関東圏で培った施工実績とノウハウを活かし、受注拡大を目指してまいります。

(参考) 東北・新潟以外における近年の主な施工実績

Yurtec

屋内配線工事

大手町フィナンシャルシティ
グランキューブ (東京都)



屋内配線工事

the ARGYLE aoyama (東京都)



空調管工事

MFLPプロロジスパーク川越 (埼玉県)



屋内配線工事

ゆめが丘ソラトス (神奈川県)

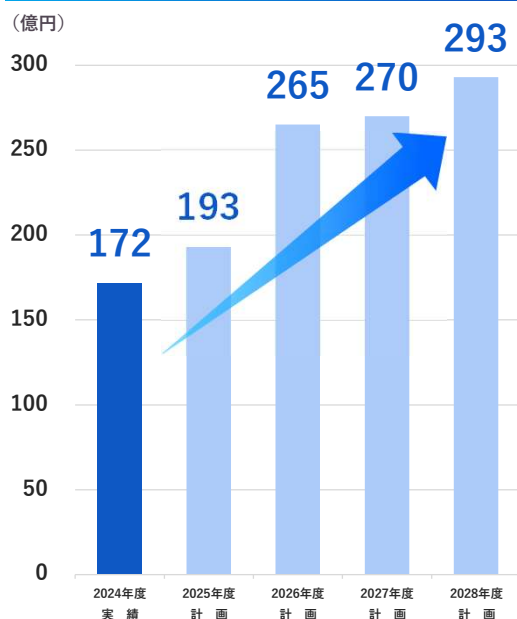


- 関東圏における近年の主な施工実績を掲載しておりますので、参考までにご覧ください。

(5) 海外事業

海外の売上計画

※「海外事業」はグループ会社を含む



■ ベトナム国を起点とした海外事業の拡大

- ✓ 連結子会社シグマ社を中心に事業を展開
- ✓ 大型ホテル・複合ビルの屋内配線・空調管工事
- ✓ 洋上風力等の再エネ関連工事の受注拡大

■ ODA案件の受注拡大

- ✓ 送配電網整備工事などを通じた東南アジア・アフリカなどへのODA案件の受注拡大に取り組む

当社の受注拡大に加え、
持続可能な社会の形成にも貢献



ケニア共和国におけるODA案件の様子

© 2025 Yurtec Corporation

34

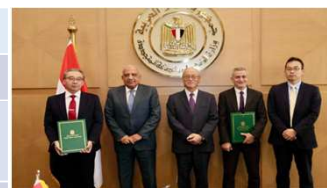
- 2つ目の重点事業は、「海外事業」です。
- 2024年度の売上実績172億円に対し、2028年度は、293億円の売上を計画しております。
- 当社の海外事業の中核であるベトナム国は、国民の生活水準の向上や製造業などの外資誘致が進み、工場・物流施設の建設や都市インフラ整備が急務となっております。
- 本計画の達成に向け、「シグマ社」を中心に、大型ホテルや複合ビルにおける屋内配線・空調管工事、洋上風力をはじめとする再エネ関連工事の受注拡大に取り組んでおります。

(5) 海外事業

■ 海外の再生可能エネルギー関連事業において大型案件を2件受注

ODA有償資金 協力 案件「ハルガダ太陽光発電設備整備事業」

実施場所	エジプト・アラブ共和国 ハルガダ
発注者	再生可能エネルギー庁 (NREA)
請負者	コンソーシアムリーダー(株)ユアテックコンソーシアムパートナー Solar Installer EPC 社、 Redcon Construction 社
発注額	7,500百万円
工期	2025年11月～2027年3月



エジプト国の紅海沿いハルガダ市に位置するウインドファーム内における太陽光発電設備の整備

Wind power plant no 7 – phase 2 Project (ソクチャン7 洋上風力発電所 2期工事)

実施場所	ベトナム国 ソクチャン省
発注者	ST2 Energy Joint Stock Company
請負者	SIGMA Engineering Joint Stock Company (当社グループ会社)
発注額	1,256bilVND (7,425百万円※) ※ベトナム通貨での発注となりますので、現時点での円換算額
工期	2025年11月～2026年12月



ベトナム沿岸の近海に19基の風力発電機を設置する風力発電所の建設

- 先日、公表させていただきましたが、海外で大型の再生可能エネルギー関連事業を2件、受注いたしました。
- 1つ目は、エジプト国でのODA案件、紅海（こうかい）沿いハルガダ市郊外における太陽光発電設備の整備工事です。
- 2つ目は、ベトナム沿岸に19基の風力発電機を設置する洋上風力発電所の建設工事です。
- 2件合わせて受注金額は約150億円となります。

(参考) 海外における近年の主な施工実績

ユアテックベトナム施工

ホテル・ニッコー・ハイフォン
ロイジェント・パークス・ハイフォン
(ベトナム国 ハイフォン市)



タイビン火力発電所
(ベトナム国 タイビン省)



大成スクエアハノイ
(ベトナム国 ハノイ市)



シグマ社施工

ソクチャン7 洋上風力発電所
(ベトナム国 ソクチャン省)



ミカヅキスパ&ホテルリゾート
(ベトナム国 ダナン市)



フラミンゴ カットバ ビーチリゾート
(ベトナム国 ハイフォン市)

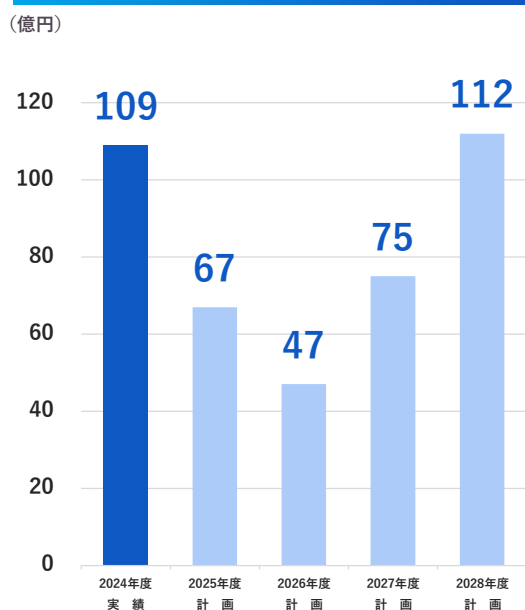


- 海外における近年の主な施工実績を掲載しております。こちらも参考までにご覧ください。

(6) 再エネ関連工事

再エネ関連工事の売上計画

(主な工事：屋内配線・送電・発電電・土木建築)



◆ 市場の動向

- 三菱商事などのコンソーシアムが公募で獲得した3海域からコスト上昇などを理由に、撤退を表明したため他の海域を含め全般的に事業の継続性が懸念
- 国が洋上風力発電を再エネの主たる柱に位置付けていることから、事業性を確保できるよう制度を見直したうえで早急に再公募を実施することとしている

■ 施工体制の拡充・強化

✓ 2023年に「再生可能エネルギー事業本部」を設置

■ 新規事業への挑戦

✓ 再エネと親和性の高い蓄電池設置工事への参入

受注拡大



2050年
カーボンニュートラル

- ✓ 引き続き成長分野として受注拡大に取り組む
- ✓ 着工延期や物価上昇の影響等を注視

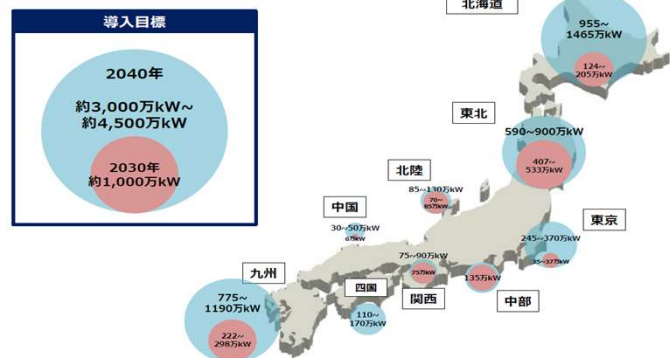
- 3つ目の重点事業は、「再エネ関連工事」です。
- 2024年度の売上実績109億円に対し、2028年度は、112億円の売上を計画しております。
- 現在、洋上風力は、三菱商事などの事業者が公募で獲得した3海域からコスト上昇などを理由として、撤退を表明したため他の海域を含め事業の継続性が懸念されている状況です。
- しかしながら、国が洋上風力発電を再エネの主たる柱に位置付けていることもあり、事業性を確保できるよう制度を見直したうえで早急に再公募を実施することとしています。
- 従いまして、工事の着手は想定よりも遅れておりますが、いずれ実施することを考慮し、その対応に向けて「再生可能エネルギー事業本部」を立ち上げ、体制強化を図っております。

(6) 再エネ関連工事（洋上風力発電の導入）

- 事業基盤である東北が洋上風力の適地であると示され、高い導入目標値が掲げられている
✓ 東北の導入目標値：2040年までに**590～900万kW**
- 地元企業としての「地の利」を活かした優位性
✓ **約70か所**の直営事業所に加え、グループ会社**13社**、協力会社**約420社**のネットワーク
⇒ 設計・施工から保守・管理まで、長期的に一貫して対応可能

◆ 国が示す洋上風力発電導入目標

【参考】エリア別の導入イメージ



(出所) 経済産業省 資源エネルギー庁 洋上風力の産業競争力強化に向けた官民協議会
「洋上風力産業ビジョン（第1次）概要」[2020年12月15日] 7頁

再エネ関連工事
20年以上の実績

受注拡大

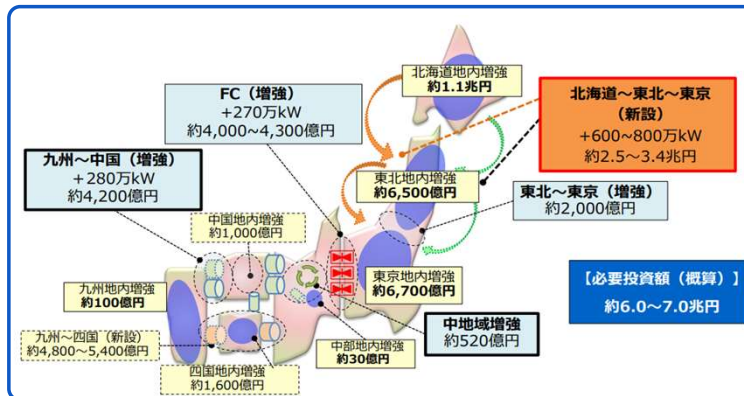
- 国では、東北エリアを風力発電の適地と示しており、2040年までに大型発電所6基から9基分に相当する発電量を目標に掲げております。
- 当社は、変電所の工事から電線ケーブルの敷設まで、総合設備エンジニアリング企業としての多岐にわたる工事施工はもちろん、送電ルート確保など立地点の土地勘があることや地元業者との日常的なお付き合いも多いことから、円滑に工事を進めることが可能であり、地元企業としての強みであると考えております。

(6) 再エネ関連工事（基幹送電網整備）

■ 基幹送電網整備工事の受注拡大

- ✓ 2050年カーボンニュートラルを見据えた国の送電網整備計画において、約6兆円から7兆円の投資が見込まれている
 - ⇒ 東北地内では約**6,500億円**、東北～東京では約**2,000億円**の投資
- ✓ 東北に確固たる事業基盤を持つ当社にとって、**継続的な受注機会**

◆ 国が示す送電網増強案



当社が施工に携わる
宮城丸森開閉所新設工事（宮城県）

(出所) 経済産業省 資源エネルギー庁

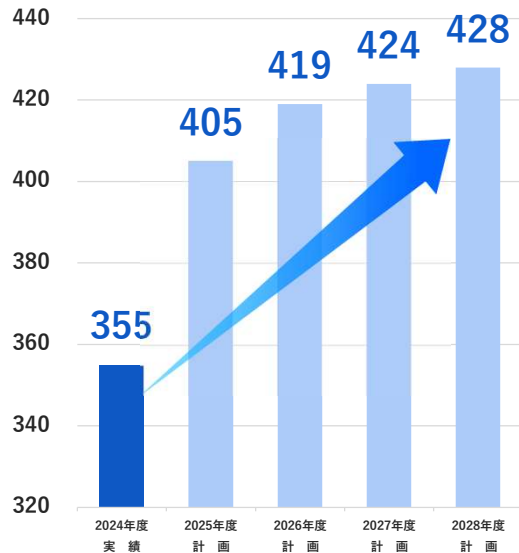
「今後の再生可能エネルギー政策について」[2024年5月29日] 17頁

- 事業基盤である東北では、カーボンニュートラルを見据え、再生可能エネルギーの大量導入に必要な送電網の増強に伴う大規模な設備投資が計画されており、東北地内では約6,500億円、東北・東京間では約2,000億円の投資が必要と試算されております。
- 当社としても「宮城丸森幹線新設工事、出羽幹線新設工事」など複数の工事を受注しており、この計画における直近の想定売上高は約100億円規模になるものと見込んでおり、今後も、さらなる受注拡大を目指してまいります。

(7) リニューアル工事

リニューアル工事の売上計画 (主な工事：屋内配線・空調管)

(億円)



■ 収益性の向上

- ✓ リニューアル工事は、収益性が高い傾向
- ✓ お客様の更新時期に提案を行うことで、確実な受注を狙う

■ 東北・新潟における受注の維持・拡大

- ✓ 人口減少が進む東北・新潟においては、将来的に新築物件の需要が低下する可能性
- ✓ 既存顧客との関係性を高め、リニューアル工事の受注拡大をはかる

■ 省エネ設備の需要増加

- ✓ 脱炭素社会の実現に向け、省エネ・創エネ設備の需要が増加
- ✓ ZEB（ネット・ゼロ・エネルギービル）化などCO₂の削減に向けた設備の提案強化

収益拡大

© 2025 Yurtec Corporation

40

- 4つ目の重点事業は、「リニューアル工事」です。
- 2024年度の売上実績355億円に対し、2028年度は、428億円の売上を計画しております。
- 本計画の達成に向け、当社は、リニューアル営業の特性を踏まえ、過去の工事実績をもとに建物を時間軸で管理できるデータベースを整備しており、お客様にとって適切な時期・適切な設備への提案を強化し、受注拡大をはかってまいります。
- また、全国的にバブル期前後に建てられたオフィスビルなどが改修期を迎えており、建て替えや改装の需要が増加している状況となっております。
- この機会を逃すことなく、リニューアル工事の受注拡大をはかってまいります。

(8) DXの推進による収益拡大

■ 3つのテーマを軸にDXを推進し、現場負担の軽減や業務効率化

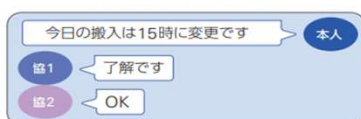
⇒ 競争力強化をはかり、収益拡大につなげる

1. タブレット/スマホ利用拡大

現場向けチャットツール導入



社外メンバーともチャットでコミュニケーション

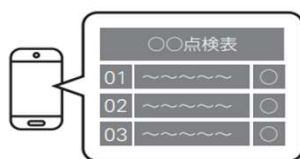


効果

現場での指示出し時間の削減、業務内容のタイムリーかつ確実な伝達により業務効率が大きく向上しています。

2. 最新デジタル技術の活用

現場帳票のデジタル化



効果

紙書類に関わる作業時間の削減、現場内での円滑な情報共有、および記録精度の向上により、業務の効率化が図られています。

3. 業務プロセスの最適化を前提としたペーパーレス化

外注契約の電子化



効果

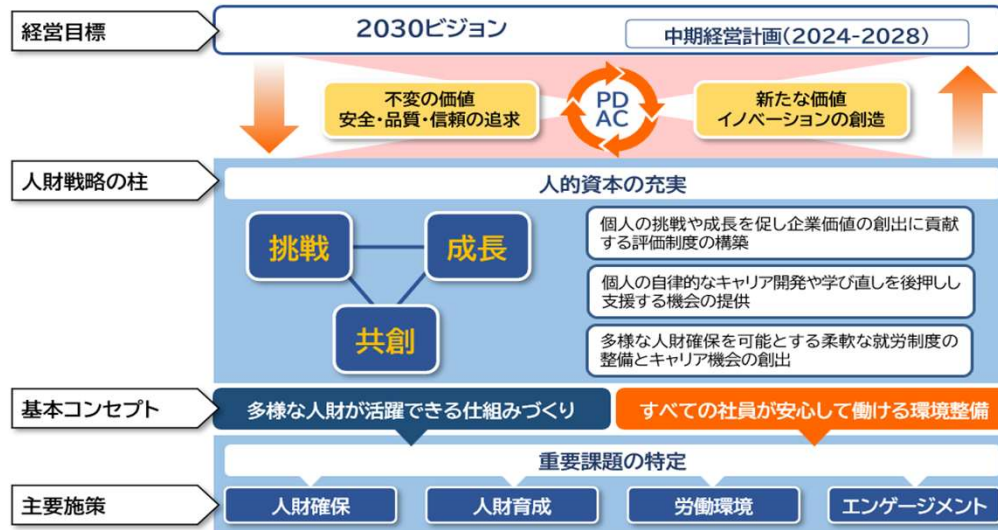
契約書や請求書のやり取りにかかる時間が短縮され、印刷費・印紙代・郵送費などのコスト削減を実現。契約業務全体の効率化が図られています。

- 4つの重点事業に加え、経営基盤強化に向けた施策にも注力しております。
- まずは、DXに関する施策です。
- 各種施策を展開しておりますが、特に3つ目の「業務プロセスの最適化を前提としたペーパーレス化」については、契約書や請求書のやりとりにかかる時間が短縮されたことに加え、印刷費や印紙代、郵送費のコスト削減にもつながっております。
- デジタル技術の活用による現場業務の軽減や業務効率化などの継続的なDXの推進により、競争力強化をはかり、収益拡大につなげてまいります。

(9) 人財戦略

- 人的資本の充実をはかるため、2024年10月に「ユアテック人財戦略」を策定
⇒ 多様な人財が活躍できる仕組みづくり、すべての社員が安心して働ける環境整備
- 「人財確保」「人財育成」「労働環境」「エンゲージメント」の4つの主要施策のもと、人財力強化をはかる

人財戦略の全体像



© 2025 Yurtec Corporation

42

- 人的資本の充実に向けた施策です。
- 当社の価値創造の源泉は人財であり、「2030ビジョン」および「中期経営計画」の達成に向け、多様な人財が活躍できる仕組みづくりと、すべての社員が積極的に挑戦し続け、夢と誇りを持ち、安心して働くことができる環境整備が大切であると考えます。
- この考えに基づき、当社では、2024年10月に「ユアテック人財戦略」を策定し、主要施策として、人財確保、人財育成、労働環境およびエンゲージメントの4つのテーマを設定し、各種検討・施策展開を進めております。

(10) 人財確保

- 「人財確保」に関する新たな制度を導入し、採用競争力を強化
- 新卒・経験者採用に加え、定年延長や新たな再雇用制度の導入によるシニア層の活躍

「人財確保」に関する新たな制度

1. 「奨学金代理返還支援制度」の導入

- 奨学金を返還する社員への生活支援、経済的・精神的負担の軽減（2021年度以降に入社した社員が対象）
- 返済開始から最長10年、月額1万5千円（最大**180万円**）まで支援

2. 「ジョブ・リターン制度」の拡充

- 2017年度に導入した同制度の利用条件を**大幅に緩和**（退職理由、当社での勤続年数、離職期間などは問わない）

3. 「定年延長」および「新・再雇用制度」の導入

- 2025年度から定年年齢を60歳から**65歳**に引き上げ
- 役割や職務内容などに応じて働き方をコース化
- 定年延長に伴い、**最長70歳**までの雇用を可能にする「新・再雇用制度」を導入

※1・2は2024年度から導入

© 2025 Yurtec Corporation

営業・施工系要員の増員予定数

➢ 5年間で約**350名**の増員を予定

営業・技術系要員

屋内配線 **92名増**

空調管 **67名増**

営業 **19名増**

情報通信 **34名増**

配電 **34名増**

送電 **36名増**

発変電 **25名増**

土木建築 **22名増**

再エネ **22名増**

注力事業・成長市場

- 屋内配線・空調管工事の一括受注
- 海外工事
- リニューアル工事

- Beyond 5G等モバイル関連工事

- 高経年化設備対策工事

- 再エネ関連工事
- 基幹送電網整備工事

- 再エネ関連工事

※中期経営計画（2024-2028）における要員計画

43

- 「人財確保」に向けた具体的な取り組みです。
- 奨学金 代理返還 支援制度の導入により、奨学金を返還する社員への生活支援や経済的・精神的負担の軽減を図るとともに、当社を退職した方を再度受け入れるジョブ・リターン制度の活用条件を大幅に緩和するなど、人財確保に向けた各種制度を整備しています。
- 今年度からは、定年の年齢を60歳から65歳に引き上げるとともに、65歳以降、最長で70歳まで働くことを可能にする新たな再雇用制度を導入し、シニア層活躍の環境を整えました。
- また、建設業における働き手不足の解消に向け、4月1日より新たに「施工体制 強化委員会」を設置しました。各種施策を立案・実施するなど、課題解決に向け積極的に取り組んでまいります。
- なお、2026年度からは、新たな人事制度や希望勤務地制度を導入し、社員がより適正な評価が受けられ、能動的にキャリア形成を実現できるよう、職場環境を整備する予定です。

(11) 人財育成

■ 成長を支える人財の育成

- ⇒ 技術継承の拠点として、300人規模の研修施設「人財育成センター」を完備
- ⇒ 同センター内に「安全啓発センター」を開設し、危険への感受性を高める教育を継続実施

人財育成センター

『技術継承の拠点』

ユアテックブランド

安全確保

信 頼

品質向上

安全啓発センター

『安全文化の定着』

© 2025 Yurtec Corporation

44

- 人財育成に関する施策です。
- 当社は、技術継承の拠点として、宮城県富谷市に300人規模の研修施設「人財育成センター」を構え、技術の高度化・専門化などに対応できる人財育成や能力開発に取り組んでおります。
- 加えて、2015年に「安全啓発センター」を開設し、作業現場で直面する危険を疑似体験できる設備を用いて、グループ会社や協力会社を含む全従業員に、危険への感受性を高める教育を行っております。
- 若年層の育成による技術力の底上げやお客さま満足度の向上、安全文化の定着を目指した教育を充実・強化し、ユアテックブランドである「安全・品質・信頼」にさらなる磨きをかけてまいります。

(12) サステナビリティへの取り組み

- 当社グループは、サステナビリティの推進を優先的に取り組むべき経営上の重要課題と位置付け、「ユアテックグループサステナビリティ方針」のもと、事業を通じて地域や社会が直面する課題の解決に努め、未来世代にわたるステークホルダーとともに、社会の持続的発展と中長期的な企業価値の向上を目指す。

	マテリアリティ	主要課題	関連するSDGs
E 環境	カーボンニュートラルへの挑戦	■ 事業における温室効果ガスの排出抑制 ■ お客さまへの省エネ提案や再生可能エネルギー関連工事の拡大	  
	地球環境の保全	■ 循環型社会の形成 ■ 生物多様性の保全	    
S 社会	レジリエントな地域社会や社会インフラの構築	■ 強靱で持続可能な街づくりへの寄与 ■ 大規模災害への対応	    
	海外インフラへの貢献	■ 進出国を中心とした社会インフラの整備	   
	イキイキと働く職場づくりを通じた従業員エンゲージメントの追求	■ ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの推進 ■ 働きやすさ・働き甲斐・生産性の向上 ■ 人材の育成と技術継承 ■ 健康経営の推進	    
	人権の尊重	■ 労働安全の確保 ■ 差別・ハラスメントの防止 ■ 様々なステークホルダーの人権尊重	    
G ガバナンス	健全で透明性のある企業経営	■ 健全な経営基盤の強化 ■ 企業倫理・法令遵守の徹底 ■ 情報セキュリティの確保 ■ ステークホルダーとの双方向コミュニケーションの充実 ■ 施工品質の追求 ■ リスクの特定と管理・対応	  

- サステナビリティへの取り組みです。
- 当社グループは、サステナビリティの推進を優先的に取り組むべき経営上の重要課題と位置付けております。
- 「ユアテックグループサステナビリティ方針」のもと、事業を通じて地域や社会が直面する課題の解決に努め、未来世代にわたるステークホルダーとともに、社会の持続的発展と中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。
- なお、本年7月に当社グループにおける人権尊重の取り組みを一層推進するため、「ユアテックグループ人権方針」を制定しております。

05 ご参考

(1) 「ユアテック統合報告書 2025」を発行



■ 2025年10月31日に統合報告書を発行

- ⇒ 本年4月に就任した新社長の心境や抱負、中期経営計画の達成に向けた経営方針、今後の戦略などを説明
- ⇒ 今般、数値目標の見直しを行った中期経営計画の進捗、財務戦略および人財戦略、各本部の取り組みを説明

[統合報告書 | IR情報 | ユアテック 東北電力グループ \(yurtec.co.jp\)](https://yurtec.co.jp)



© 2025 Yurtec Corporation

47

- 当社は、2025年10月に「統合報告書2025」を発行いたしました。
- 今回の統合報告書では、私の社長就任における心境や抱負、中期経営計画の達成に向けた経営方針、今後の戦略などをご説明しております。
- また、数値目標の見直しを行いました中期経営計画の進捗をはじめ、財務戦略および人財戦略、各本部の取り組みを説明しております。
- 当社HPに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

(2) 基本情報

(2025年9月末現在)

会社名 株式会社ユアテック

設立 1944年10月

所在地 宮城県仙台市

業種 建設業（設備工事業）

従業員 3,917名

連結子会社 16社（うち海外2社）

資本金 78億390万円

市場 東京証券取引所 プライム市場

証券コード 1934



取締役社長 社長執行役員 小林 郁見
(本日の説明者)

－ 株式メモ －

決算日	3月31日
定時株主総会	6月27日
期末配当金基準日	3月31日
中間配当金基準日	9月30日
発行済株式総数	69,191,462株
株主総数	9,238名
大株主	東北電力株式会社（持株比率39.20%）

説明省略

(3) 営業エリア

- 東北と新潟県を中心に関東圏・北海道・大阪府と国内約80か所に事業所を配置
海外3か国（ベトナム、ミャンマー、 Bangladesh）に事業所を展開
- アフリカ、東南アジアなどにおいては、ODA案件に参画



本社ビル 宮城県仙台市(仙台駅東口)

説明省略

(4) 事業展開

■ 総合設備エンジニアリング企業として、多岐にわたる工事を施工

主に一般得意先工事
(ゼネコン、官公庁、一般企業等)

主に東北電力グループ工事
(東北電力、東北電力ネットワーク)

屋内配線



空調管



配電線



送電



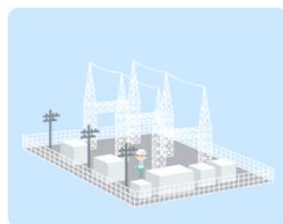
情報通信



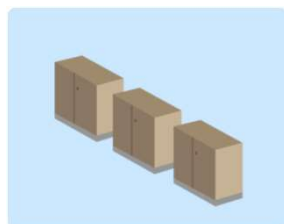
再生可能エネルギー



発電電



土木建築



説明省略

(5) 一般得意先工事

屋内配線工事

日常生活の場を快適に、
便利に、そして安全に
使用できる電気設備を
施工



空調管工事

空気環境を良好に維持
する空気調和設備、ト
イレや給水をはじめと
する給排水衛生設備等
を施工



情報通信工事

インターネットや携帯
電話等の生活に欠かせ
ない情報通信インフラ
設備を施工



再生可能 エネルギー工事

風力や太陽光などの再
生可能エネルギー発電
設備を施工



(6) 東北電力グループ工事

Yurtec

配電線工事

発電した電気を全ての建物までお届けするための配電設備を施工



送電工事

発電所でつくられた電気を変電所まで運ぶ送電線路を施工



発電変電工事

電気を生み出す発電所、電力流通の拠点となる大型変電所に関する工事を施工



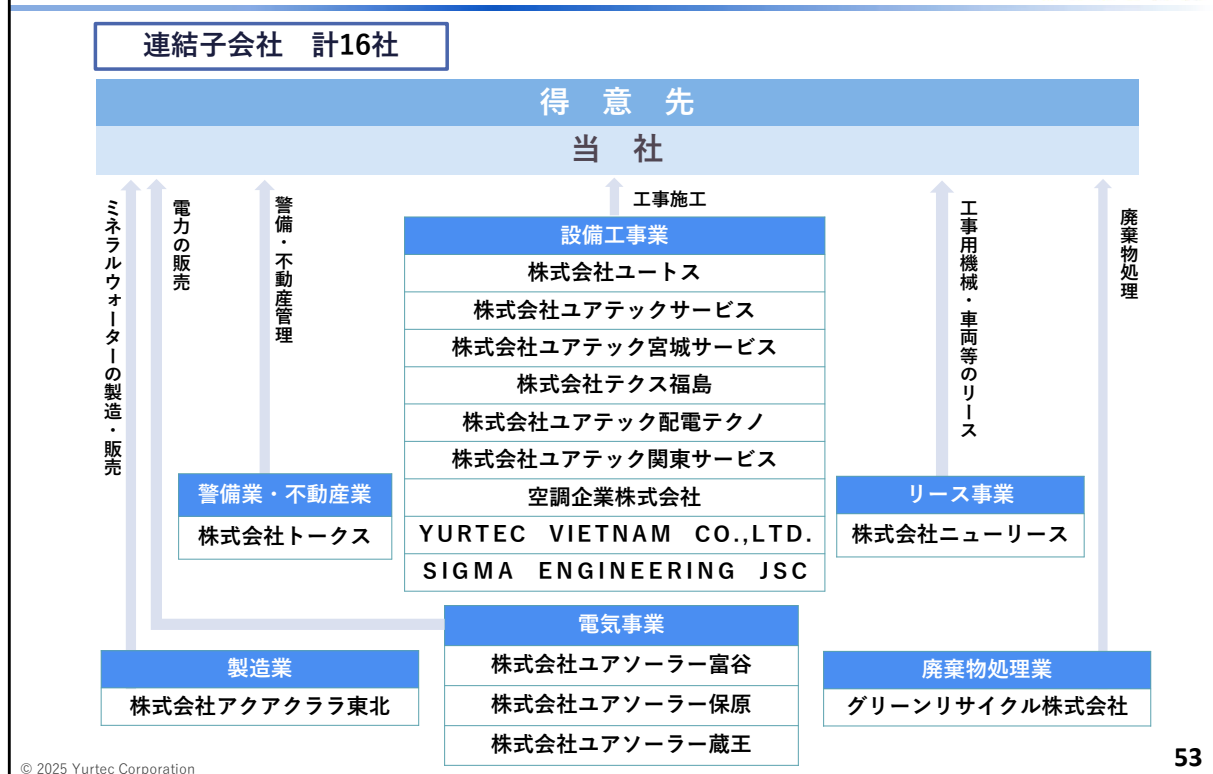
土木建築工事

無電柱化工事など各種電力設備の土木建築に係る工事を施工



説明省略

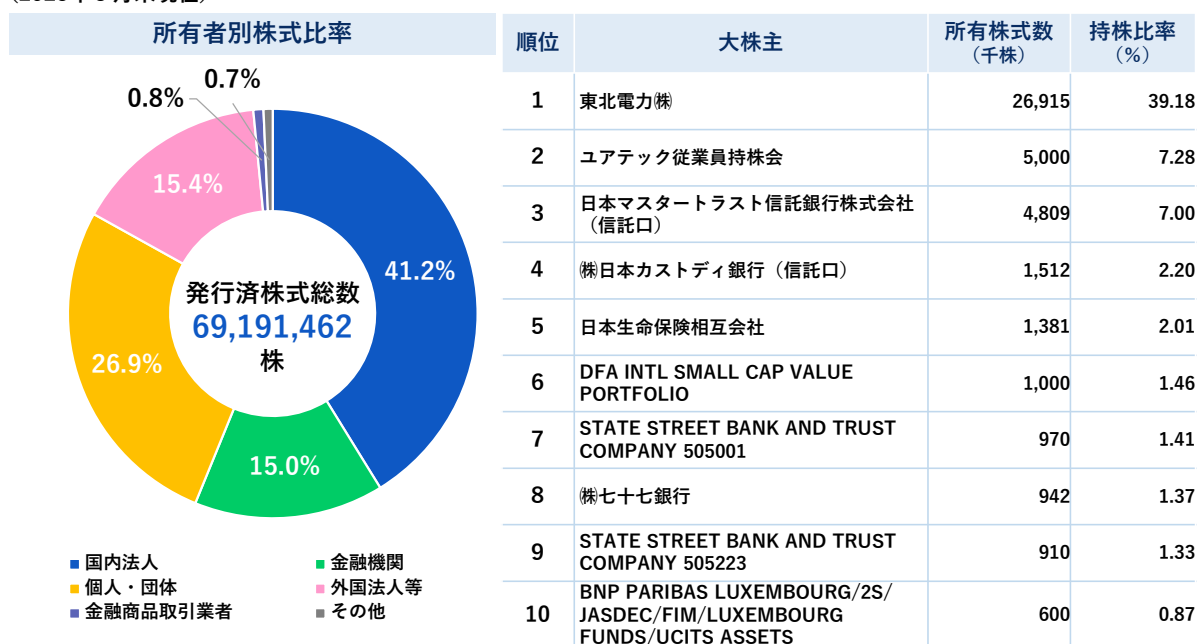
(7) ユアテック企業グループ



説明省略

(8) 株式の状況

(2025年9月末現在)



(注1) 所有者別株式比率のグラフにおいて、自己株式は、「その他」に含めております。

(注2) 持株比率は、発行済株式総数から自己株式(504,018株)を控除し、計算しております。自己株式は、上記大株主から除外しております。

説明省略

企業理念

ユアテックは
お客さまの心ゆたかな価値の創造に協力し、
社会の発展に貢献します。



© 2025 Yurtec Corporation

55

- 最後になりますが、当社は、お客さまの心ゆたかな価値の創造に協力し、社会の発展に貢献していくことを企業理念として、持続的成長と中長期的な企業価値向上に努めてまいります。

将来の見通しに関するご注意事項

本資料における業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【当社ウェブサイト（IR情報）】
<https://www.yurtec.co.jp/ir/>



【本資料に関するお問い合わせ先】
株式会社ユアテック
宮城県仙台市宮城野区榴岡4-1-1
TEL：022-296-2111（代表）
担当：総務部株式グループ

仙台市が所有し、プロサッカーチームベガルタ仙台のホームスタジアムとなっているスタジアムのネーミングライツを2006年3月1日に取得し、名称を「ユアテックスタジアム仙台（略称：ユアスタ仙台）」としております。

© 2025 Yurtec Corporation